

# おいしい米づくり情報 No.3

～温度は控えめ日光はたっぷりで、充実した苗を作ろう～

今後、気温は高めに経過しそうです。育苗での温度は高くないよう

注意し、充実した苗を作りましょう！！

## ★育苗のポイント

### 《異品種の混入(コンタミ)を防止しよう!》

- ・消費地でのDNA鑑定で、単一品種銘柄米でのコンタミが問題となる場合があります。
- ・複数品種を作付けする方は、品種毎に間仕切りやラベルを設置するなど、作業員全員が品種毎の位置を認識できるようにして、コンタミを防止しましょう。



### 《出芽後～緑化までの管理》

- ・育苗器から苗箱を苗床に移す作業は、午前中に行いましょう。加温出芽、無加温出芽にかかわらず、出芽後は直射日光を避け、ラブリットや寒冷紗、太陽シート等をかけて、徐々に緑化させましょう。緑化の期間は3日間が目安です。
- ・持ち上げられた土は灌水等で早めに落とし、その後の緑化期間の灌水は避けましょう。種籾の露出は、高温障害や病害の原因になります。覆土の手直しは丁寧に行いましょう。
- ・**温度は、20～25℃が適温です。** 昼の高温(30℃以上)、夜の低温(10℃以下)に注意しましょう。

### 《緑化期以降の管理》

#### ＜温度管理の目安＞

最適温度	最高温度	最低温度
15～20℃	25℃	5℃

- ・日中はハウスの両脇等を開放し、低めの温度管理を心がけましょう。高温で徒長した苗は、移植後の活着が劣るので注意しましょう。
- ・ハウス等のビニールを張り替えたり、被覆資材を変更した場合は、特に温度変化に注意しましょう。

#### ＜水管理＞

- ・灌水は基本的に午前中1回とし、午前10時頃までに終了しましょう。午後、特に夕方の灌水は、床土中の暖められた空気を追い出して地温が下がり、根が酸素不足となり、根張り不良やムレ苗の原因となるのでやめましょう。

「つや姫」情報 ☆☆ 新品種「つや姫」の  
先行販売用の苗が順調に育っています。  
☆☆☆☆ 写真は、上山市4/21の播種で、  
☆☆☆ 4/27の様子です。(次回に続く・・・)



## ☆苗の伸びすぎに注意!!

- ・育苗の初期段階で苗を伸ばしすぎると、腰高で充実の劣る苗に育ちます。硬化期（1.5葉期）以降は夜も被覆資材はかけず、朝も早くからハウスを開けましょう。
- ・田植え1週間前からは、降霜の心配がない限り、夜間もハウス・トンネルを開放し、苗を外気に慣らしましょう。

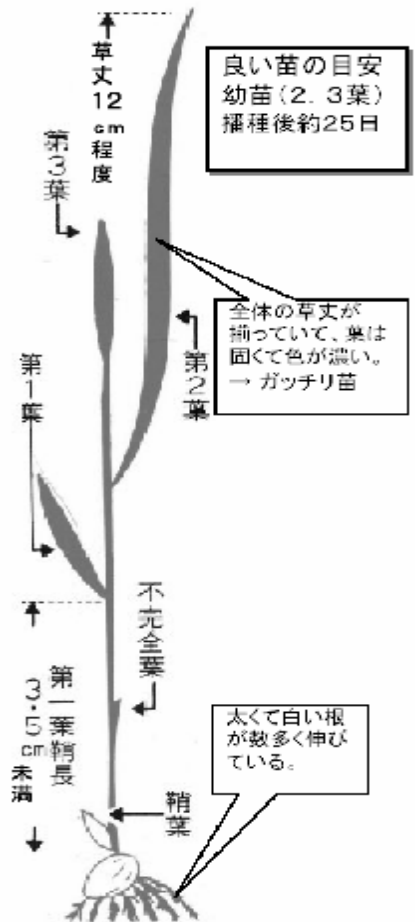
## 《育苗の追肥》

- ・苗の葉令を確認し、遅れずに施用しましょう。

### ＜育苗箱 100 枚分の目安＞

	追肥の時期(葉令)		液肥(N成分10%)の場合	
	稚苗	中苗	液肥	水量
1回目	1.8葉	1.5葉	500ml	50リットル
2回目	(移植前)	2.5葉	500ml	50リットル

※緩効性育苗用肥料（育苗一発等）の場合は、追肥の必要はありません。



## 《農薬は使用基準の遵守、履歴の記録を！》

- ・すべての農作物に農薬の残留基準が設定されており、それを超えた農作物は、流通が禁止されます。農薬の基準を守り、安全で安心な米づくりを目指しましょう。
- ・農薬の使用履歴（何という農薬を、いつ、量は？、どこの何に対して 等）を記録しておくことも、生産者として重要です。

※ 育苗ハウス内での後作を予定している場合は、ハウス内での農薬使用に十分注意し、箱施用剤の散布はハウスの外で行うようにしましょう。

## ☆本田準備のポイント

### 《基肥は適量を！》

- ・基肥が多いと生育量が過剰となり、生育のコントロールが難しくなります。高品質・良食味安定生産を実現するため、品種や土壤にあわせた基肥量を守りましょう。

### ＜本田基肥量の目安（窒素成分kg/10a）＞

品種名	はえぬぎ	ササニシキ	あきたこまち	ひとめぼれ	コシヒカリ
窒素成分	5.0~6.0	3.0~4.0	4.0~5.0	4.0~5.0	3.0

## ☆安全で安心な消費者に信頼される米づくりをめざそう！

◎農薬は使用する前によくラベルを読み、使用時期・使用方法を確認してから正しく使用しましょう。また、こまめに栽培履歴(肥料・農薬の使用、作業実施日などについて)を記録しましょう。

☆山形県農業情報サイト「あぐりん <http://agrin.jp/>」では農薬（登録失効、適用情報等）についてなど、役立つ情報をいち早く知ることができます！

**農作業安全はみんなの願い ～農作業事故ゼロ運動展開中～**

村山総合支庁農業技術普及課（TEL:621-8294）